安全データシート



キット 製品名 Transformation Reagent Refill Kit キット カタログ番号 1660555, 1660555EDU

改訂日 2022-03-28

構成品

カタログ番号	製品名
1660405, 1660405EDU, 9703031	Plasmid (pGLO) lyophilized
1660407, 1660407EDU, 9702928	Ampicillin, lyophilized
1660406, 1660406EDU, 9702997	Arabinose Lyophilized
1660421, 1660421EDU, 9702927	LB Broth
9702925	Transformation Solution
1660408, 1660408EDU, 9702924	E. coli HB101 Lyophilized

KITJ / JP ページ 1/41



この安全データシートは以下の要件に準拠している: JIS Z 7253:2012

> 改訂日 2021-10-28 改訂番号 1.1

化学品及び会社情報

製品名 Plasmid (pGLO) lyophilized

カタログ番号 1660405, 1660405EDU, 9703031

100209-25-4 CAS**番号**

安全データシート の供給者の詳細

本社 製造者 日本法人/連絡先住所

Bio-Rad Laboratories Inc. Bio-Rad Laboratories, Life 140-0002 東京都品川区東品川2-2-24 1000 Alfred Nobel Drive Science Group 2000 Alfred Nobel Drive Hercules, CA 94547 天王洲セントラルタワー20F

Hercules, California 94547 **USA** バイオ・ラッド ラボラトリーズ USA

株式会社

テクニカルサービス 03-6404-0331

life_ps_jp@bio-rad.com CHEMTREC (ケムトレック):81-345209637 緊急連絡電話番号

化学品の推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 使用上の制限 試験研究用試薬。

情報なし

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

世界調和システム(GHS)による危険物有害性の物質でも混合物でもない 区分に該当しない	
急性毒性(経口)	分類できない
急性毒性(経皮)	分類できない
急性毒性(吸入) - ガス	区分に該当しない
急性毒性(吸入) - 蒸気	分類できない
急性毒性(吸入) - 粉塵/ミスト	分類できない
皮膚腐食性/刺激性	分類できない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	分類できない
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
授乳に対する又は授乳を介した影響	授乳に対する又は授乳を介した影響は
	ない
特定標的臓器毒性(単回ばく 露)	分類できない
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	分類できない
誤えん有害性	分類できない
水生環境有害性 短期(急性)	分類できない
水生環境有害性 長期(慢性)	区分に該当しない
オゾン層への有害性	分類できない

ラベル要素

危険有害性情報

世界調和システム(GHS)による危険物有害性の物質でも混合物でもない 区分に該当しない

安全対策

・該当しない

応急措置

・該当しない

保管

-・該当しない 廃棄

・該当しない

他の危険有害性

3. 組成及び成分情報

混合物 化学物質・混合物の区別

CAS番号 100209-25-4

化学品の名称	CAS番号	重量%	化審法インベント リ	化審法番号	安衛法インベント リ	安衛法番号
Deoxyribonucleic acids, plasmid cole1	100209-25-4	50 - 100	情報なし		情報なし	

化学物質排出把握管理促進法(PRTR)

労働安全衛生法

通知対象物質

該当しない

<u>表示対象物質</u> 該当しない

毒物及び劇物取締法

該当しない

4. 応急措置

吸入した場合 空気の新鮮な場所に移すこと。

皮膚に付着した場合 皮膚を石けん(鹸)と水で洗うこと。

上下のまぶた(瞼)を持ち上げながら最低15分間多量の水でよく洗うこと。医師に相談する 眼に入った場合

こと。

飲み込んだ場合 口をすすぐこと。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な 情報なし

徴候症状

医師に対する特別な注意事項 症状に応じて治療すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 現地の状況及び周囲環境に適した消火方法を用いること。

使ってはならない消火剤 高圧水で漏出物を散乱させないこと。

特有の危険有害性 情報なし。

特有の消火方法

水噴霧でドラムを冷却すること。 警告:放水では十分な消火の効果が得られない場合がある。 大規模火災

消火活動を行う者の特別な保護具及び 消火を行う者は自給式呼吸器及び消火活動用の完全装備を着用しなければならない。 個人

予防措置 用保護具を使用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊 十分換気されているか確認すること。 **急時措置**

緊急対応を行う 者のための保護具 項目8で推奨されている個人用保護具を着用すること。

環境に対する注意事項 環境影響情報の詳細情報については項目12を参照のこと。

封じ込め方法 安全に対処できるならば、それ以上の漏えい(洩)又は漏出を防ぐこと。

浄化方法 回収して適切に表示された容器に移すこと。

二次災害の防止策 汚染された物体及び区域を環境規則に従って十分に浄化すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱注意事項 産業衛生安全対策規範に従って取り扱うこと。

<u>保管</u>

安全な保管条件 製品とラベルの指示に従って保管してください。

8. ばく露防止及び保護措置

この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した職業被ばく限界が設定された危険有害物質を一切含んでいない。 許容濃度

供給時のこの製品は、各地域の規制機関が独自に生物学的制限値を定めている危険有害性 生物学的職業性ばく 露限界値

物質を一切含んでいない。

設備対策 シャワー

洗眼場 換気システム

環境ばく 露防止 情報なし。

保護具

呼吸用保護具 通常の使用条件下では保護具は必要ない。ばく露限度を超えるか刺激が生じる場合には、

換気および排気が必要になる。

眼、顔面の保護具 サイドシールド付き保護眼鏡(またはゴーグル)を着用すること。

皮膚及び身体の保護具 特別な保護具は必要とされない。

9. 物理的及び化学的性質

物理的及び化学的性質に関する情報

外観 固体(白色~オフホワイト)粉末またはケーキ、凍結乾燥されたもの

物理状態 固体

色 無色 臭い 無臭 臭いのしきい値 情報なし

備考 · 方法 <u>デー</u>タなし データなし 情報なし 情報なし 一タ なし 情報なし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界 爆発又は可燃の上限界 データなし 情報なし 爆発又は可燃の下限界 データなし 情報なし 該当しない 引火点 情報なし 蒸発速度 自然発火点 分解温度 情報なし データなし -タなし 情報なし 一タなし 情報なし

情報なし рΗ 粘度 データなし 動粘性率 情報なし

データなし 動的粘度 情報なし 水に可溶 Water solubility データなし 情報なし

n ーオクタノール/水分配係数(log値) 蒸気圧 データなし 情報なし データなし 情報なし

密度及び/又は比重 相対密度 データなし 情報なし

相対ガス密度 データなし 情報なし 粒子特性 データなし 粒径 該当しない 粒径分布 データなし

その他の情報

爆発性 情報なし 酸化特性 情報なし

10: 安定性及び反応性

該当しない

反応性 情報なし。

化学的安定性 通常の条件下で安定。

危険有害反応可能性 通常のプロセスではない。

避けるべき条件 情報なし。

混触危険物質 提供された情報に基づき知見なし。 危険有害な分解生成物 提供された情報に基づき知見なし。

爆発データ

静電放電に対する感度 なし。 機械的衝撃に対する感度 なし。

11. 有害性情報

<u>急性毒性</u> 分類できない。

毒性の数値尺度 - 製品情報

情報なし

症状 情報なし

この化学物質または混合物の特定試験データはない。 経口

吸入 この化学物質または混合物の特定試験データはない。

皮膚接触 この化学物質または混合物の特定試験データはない。

眼接触 この化学物質または混合物の特定試験データはない。 1 / 3 1

皮膚腐食性/刺激性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

呼吸器感作性又は皮膚感作性 分類できない。

生殖細胞変異原性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

発がん性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

生殖毒性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

特定標的臓器毒性(単回ばく露) 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

特定標的臓器毒性(反復ばく露) 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

誤えん有害性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

12. 環境影響情報

生態毒性 分類できない。

未知の危険有害性物質の濃度 混合物の 0 %は水生環境に対する危険有害性が未知の成分で構成されている。

残留性・分解性 情報なし。

生体蓄積性情報なし。

土壌中の移動性 情報なし。

オゾン層への有害性 分類できない。 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

他の有害影響情報なし。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 現地の規則に従って廃棄すること。 環境法律に従って廃棄物を廃棄すること。

汚染容器及び包装 空容器を再利用しないこと。

14. 輸送上の注意

IMDG 規制対象外

ADR 規制対象外

IATA 規制対象外

日本 規制対象外

15. **適用法令**

国内規制

化学物質排出把握管理促進法(PRTR) is当しない 労働安全衛生法 該当しない 通知対象物質 該当しない

毒物及び劇物取締法

該当しない

消防法:

該当しない

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法)

該当しない

海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律

該当しない

国際規制

残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約 該当しない

ロッテルダム条約 該当しない

16. その他の情報

作成者 Bio-Rad Laboratories, Environmental Health and Safety

2021-10-28 改訂日

改訂記録 更新された安全データシート項目。1。2。

安全データシートで使用されている略語及び頭文字のキー又は凡例 凡例 項目8: ばく露防止及び保護措置

TWA TWA(時間加重平均) 天井値 最大限界值 皮膚兆候 感作性物質

本安全データシート の編集に使用した主要参考文献およびデータ源

環境有害物質·特定疾病対策庁 (ATSDR)

米国環境保護庁ChemViewデータベース

欧州化学品局 欧州食品安全機関(EFSA)

EPA (環境保護庁)

急性ばく露ガイドラインレベル(AEGL)

急性ばく露ガイドラインレベル(AEGL) 米国環境保護庁、連邦殺虫剤、殺菌剤、殺鼠剤法 米国環境保護庁高生産量化学物質 フードリサーチジャーナル (Food Research Journal) 危険有害性物質データベース 国際統一化学情報データベース(IUCLID) 日本政府によるGHS分類 オーストラリア国家工業化学品届出審査機構(NICNAS) NIOSH(米国労働安全衛生研究所)

米国医学図書館ChemID Plus(NLM CIP)

National Library of Medicine's PubMed database (NLM PUBMED) 米国国家毒性プログラム(NTP)

ニュージーランド 化学物質分類・情報データベース(CCID)

経済協力開発機構、環境・健康・安全に関する文書

経済協力開発機構、高生産量化学物質点検プログラム

経済協力開発機構、スクリーニング情報データセット

世界保健機構

免責事項

このSDSは、JIS Z 7252:2019およびJIS Z 7253:2019の要件に準拠している。 この安全データシート に記載されている内容は、発行

日時点の知見、情報に基づき正確を期したものです。ここに記載されている情報は当該製品の安全な取扱い、使用、加工処理、保管、運搬、廃棄、漏えい時の処理など指針とすることのみを目的としたものであり、いかなる保証をするものではなく、また品質仕様ではありません。本文中に明記されている場合を除き、他の何らかの材料と組み合わせて使用した場合、または何らかのプロセスに使用した場合には、有効でなくなる場合があります。

安全データシート のおわり



この安全データシートは以下の要件に準拠している: JIS Z 7253:2012

改訂日 2022-03-28

改訂番号 1

化学品及び会社情報

製品名 Ampicillin, lyophilized

カタログ番号 1660407, 1660407EDU, 9702928

CAS**番号** 69-52-3

安全データシート の供給者の詳細

本社 製造者 日本法人/連絡先住所

Bio-Rad Laboratories Inc. Bio-Rad Laboratories, Life 140-0002 東京都品川区東品川2-2-24 1000 Alfred Nobel Drive Science Group 2000 Alfred Nobel Drive Hercules, CA 94547 天王洲セントラルタワー20F Hercules, California 94547 **USA** バイオ・ラッド ラボラトリーズ

USA 株式会社

テクニカルサービス 03-6404-0331

life_ps_jp@bio-rad.com CHEMTREC (ケムトレック):81-345209637 緊急連絡電話番号

化学品の推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 使用上の制限 試験研究用試薬。

情報なし

2. 危険有害性の要約

GHS 分類	
急性毒性(経口)	区分に該当しない
急性毒性(経皮)	分類できない
急性毒性(吸入) - ガス	区分に該当しない
急性毒性(吸入) - 蒸気	分類できない
急性毒性(吸入) - 粉塵/ミスト	分類できない
皮膚腐食性/刺激性	分類できない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	分類できない
呼吸器感作性	区分 1
皮膚感作性	区分 1A
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	区分に該当しない
生殖毒性	分類できない
授乳に対する又は授乳を介した影響	授乳に対する又は授乳を介した影響は
	ない
特定標的臓器毒性(単回ばく 露)	分類できない
特定標的臓器毒性(反復ばく 露)	分類できない
誤えん有害性	分類できない
水生環境有害性 短期(急性)	分類できない
水生環境有害性 長期(慢性)	区分に該当しない
オゾン層への有害性	分類できない

ラベル要素



注意喚起語

吸入するとアレルギー、ぜん(喘)息又は呼吸困難を起こすおそれアレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

安全対策

- ・粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること ・【 換気が不十分な場合】呼吸用保護具を着用すること ・汚染された作業場から出さないこと

- ・保護手袋を着用すること

応急措置

- ・皮膚に付着した場合:多量の水と石けん(鹸)で洗うこと ・皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合:医師の診察/手当てを受けること ・汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること ・吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること ・呼吸に関する症状が出た場合:医師に連絡すること

·該当しない

廃棄

・該当しない

他の危険有害性

3. 組成及び成分情報

混合物 化学物質. 混合物の区別

CAS番号 69-52-3

化学品の名称	CAS番号	重量%	化審法インベント リ	化審法番号	安衛法インベント リ	安衛法番号
アンピシリンナトリウ	ム 69-52-3	50 - 100	既存	-	情報なし	

化学物質排出把握管理促進法(PRTR)

該当しない

労働安全衛生法

通知対象物質

該当しない

表示対象物質 該当しない

毒物及び劇物取締法

該当しない

4. 応急措置

一般的なアド バイス 治療を行う医師にこの安全データシートを示すこと。

吸入した場合

アレルギー性呼吸器反応を起こすおそれ。 呼吸が停止している場合には、人工呼吸を行うこと。直ちに医師の手当てを受けること。 空気の新鮮な場所に移すこと。 皮膚に直接触れないようにすること。 口対口の人工呼吸を行う際はバリアを使用すること。 直ちに医師の診察/手当てを受けること。

石けん(鹸)と水で洗うこと。 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。 皮膚の炎症又はアレルギー性反応が認められる場合には、医師の診察を受けること。 皮膚に付着した場合

上下のまぶた(瞼)を持ち上げながら最低15分間多量の水でよく洗うこと。医師に相談すること。 眼に入った場合

飲み込んだ場合 アレルギー性反応を起こすおそれ。 無理に吐かせないこと。 口をすすぐこと。 意識のな

い者には、何も口から与えてはならない。 直ちに医師の診察/手当てを受けること。 水で口をすすぎ、その後多量の水を飲むこと。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な 吸入するとアレルギー、ぜん(喘)息又は呼吸困難を起こすおそれ、 咳および/または喘鳴、 掻痒感、 発疹、じんま疹 徴候症状

応急措置をする者の保護に必要な注意 医療者が物質の関与を認識していることを確認し、彼ら自身の保護及び汚染の拡大を防止 事項 するための措置を講じること。 皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。 皮膚に直接触 れないようにすること。 口対口の人工呼吸を行う際はバリアを使用すること。 指定された 個人用保護具を着用すること。 詳細については項目8を参照。

医師に対する特別な注意事項 敏感な個人に感作を引き起こすおそれがある。 症状に応じて治療すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 現地の状況及び周囲環境に適した消火方法を用いること。

使ってはならない消火剤 高圧水で漏出物を散乱させないこと。

製品は感作性物質である、又は感作性物質を含む。 吸入および皮膚接触により感作を引き起こすことがある。 皮膚接触により感作を引き起こすことがある。 特有の危険有害性

特有の消火方法 水噴霧でドラムを冷却すること

警告:放水では十分な消火の効果が得られない場合がある。 大規模火災

消火活動を行う者の特別な保護具及び消火を行う者は自給式呼吸器及び消火活動用の完全装備を着用しなければならない。個人 予防措置

用保護具を使用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊 皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。 十分換気されているか確認すること。 指定さ 急時措置 れた個人用保護具を着用すること。 人員を安全な区域に退避させること。 人員を漏出/ 急時措置

漏えい(洩)の風上に遠ざけること。

緊急対応を 行う 者のための保護具 項目8で推奨されている個人用保護具を着用すること。

環境に対する注意事項 安全に対処できるならば、それ以上の漏えい(洩)又は漏出を防ぐこと。

封じ込め方法 安全に対処できるならば、それ以上の漏えい(洩)又は漏出を防ぐこと。

浄化方法 回収して適切に表示された容器に移すこと。

二次災害の防止策 汚染された物体及び区域を環境規則に従って十分に浄化すること。

項目7及び項目8に記載されている保護措置を参照すること。 その他の情報

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱注意事項

産業衛生安全対策規範に従って取り扱うこと。 皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。 十分換気されているか確認すること。 放出が発生する場所には排気換気を設けること。 換気が不十分な場合、適切な呼吸用保護具を着用する。 この製品を使用するときに、飲食 又は喫煙をしないこと。 汚染された衣類及び靴を脱ぐこと。 汚染された衣類を脱ぎ、再 使用する場合には洗濯をすること。

皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。 適切な手袋および眼/顔面保護具を着用する。この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 汚染された衣類および手袋は脱ぎ、再使用する前に内側を含めて洗濯すること。 衛生対策

保管

容器を密閉して乾燥した涼しく換気のよい場所に保管すること。 施錠して保管すること子供の手の届かない場所に保管すること。 製品とラベルの指示に従って保管してくださ 安全な保管条件

8. ばく露防止及び保護措置

この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した職業被ばく限界が設定された危険有害物質を一切含んでいない。 許容濃度

生物学的職業性ばく露限界値 供給時のこの製品は、各地域の規制機関が独自に生物学的制限値を定めている危険有害性

物質を一切含んでいない。

シャワー 設備対策

洗眼場 換気システム

環境ばく 露防止 情報なし。

保護具

呼吸用保護具 通常の使用条件下では保護具は必要ない。ばく露限度を超えるか刺激が生じる場合には、

換気および排気が必要になる。

手の保護具 適切な手袋を着用する。

サイドシールド付き保護眼鏡(またはゴーグル)を着用すること。 眼、顔面の保護具

皮膚及び身体の保護具 適切な保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

情報なし

情報なし

情報なし

情報なし

情報なし

物理的及び化学的性質に関する情報

外観 結晶 物理状態 固体 色 淡黄色 無臭 臭い 臭いのしきい値 情報なし

備考 · 方法

融点/凝固点 240 ° C / 464 ° F データなし 沸点、初留点及び沸騰範囲 情報なし ータなし 情報なし

可燃性 爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界

爆発又は可燃の上限界 データなし 情報なし データなし 爆発又は可燃の下限界 情報なし 引火点 該当しない 情報なし データ なし データ なし 蒸発速度 自然発火点 情報なし 情報なし情報なし データなし 分解温度 рН 情報なし

粘度

データなし 動粘性率 情報なし データなし 動的粘度 情報なし

Water solubility 水に可溶 データなし 溶解度

データなし n ーオクタノール/水分配係数(log値) 蒸気圧 データなし 密度及び/又は比重

相対密度 データなし データなし 相対ガス密度

粒子特性 データなし 粒径

該当しない 粒径分布 データなし 該当しない

その他の情報

爆発性 情報なし

酸化特性 情報なし

10: 安定性及び反応性

反応性 情報なし。

化学的安定性 通常の条件下で安定。

危険有害反応可能性 通常のプロセスではない。

避けるべき条件 情報なし。

混触危険物質 提供された情報に基づき知見なし。

危険有害な分解生成物 提供された情報に基づき知見なし。

爆発データ

なし。 静電放電に対する感度 機械的衝撃に対する感度 なし。

11. 有害性情報

急性毒性

毒性の数値尺度 - 製品情報

化学品の名称	経口LD50	経皮LD50	吸入 LC50
アンピシリンナトリウム	> 5314 mg/kg (Rat)	-	-

Abbreviations and acronyms Rat: Rat

アレルギー性反応の症状には、発疹、掻痒感、腫脹、呼吸困難、手および足の刺すような痛み、めまい、意識もうろう、胸痛、筋肉痛または潮紅が含まれる場合がある、 咳および/または喘鳴、 掻痒感、 発疹、じんま疹

製品情報

症状

この化学物質または混合物の特定試験データはない。「 吸入」の項目に記載されている追 経口

加的影響を生じるおそれ。

この化学物質または混合物の特定試験データはない。 敏感な個人に感作を引き起こすおそ 吸入

れがある。(成分に基づく)。

この化学物質または混合物の特定試験データはない。 反復または長期にわたる暴露による皮膚への接触は、敏感な人にアレルギー性反応を生じるおそれがある。 (成分に基づく)。 皮膚接触により感作を引き起こすことがある。 皮膚接触

眼接触 この化学物質または混合物の特定試験データはない。

皮膚腐食性/刺激性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

呼吸器感作性又は皮膚感作性 吸入により感作を引き起こすことがある。 皮膚接触により感作を引き起こすことがある。

生殖細胞変異原性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

発がん性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 区分に該当しない。

下表は各機関が何らかの成分を発がん性として記載しているかを示す。

Ampicillin, lyophilized **改訂日** 2022-03-28

化学品の名称	日本	IARC
アンピシリンナトリウム	-	Group 3
69-52-3		'

凡例

IARC(国際癌研究機関)

グループ3-ヒトに対する発がん性について分類できない

生殖毒性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

特定標的臓器毒性(単回ばく露) 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

特定標的臓器毒性(反復ばく露) 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

誤えん有害性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

12. 環境影響情報

生態毒性 分類できない。

未知の危険有害性物質の濃度 混合物の0%は水生環境に対する危険有害性が未知の成分で構成されている。

残留性.分解性 情報なし。

生体蓄積性情報なし。

土壌中の移動性 情報なし。

オゾン層への有害性 分類できない。 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

他の有害影響情報なし。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 現地の規則に従って廃棄すること。 環境法律に従って廃棄物を廃棄すること。

汚染容器及び包装 空容器を再利用しないこと。

14. 輸送上の注意

 IMDG
 規制対象外

 ADR
 規制対象外

 IATA
 規制対象外

 日本
 規制対象外

15. 適用法令

国内規制

化学物質排出把握管理促進法(PRTR)

該当じない

Ampicillin, lyophilized 改訂日 2022-03-28

労働安全衛生法 該当しない 通知対象物質 該当しない

毒物及び劇物取締法

該当しない 消防法:

該当しない

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法) 該当しない

海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律 該当しない

国際規制

残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約 該当しない

ロッテルダム条約 該当しない

16. その他の情報

作成者 Bio-Rad Laboratories, Environmental Health and Safety

改訂日 2022-03-28

更新された安全データシート項目。1。2。

安全データシート で使用されている略語及び頭文字のキー又は凡例

凡例 項目8: ばく露防止及び保護措置

TWA TWA(時間加重平均) 天井値 最大限界值 皮膚兆候 感作性物質

本安全データシート の編集に使用した主要参考文献およびデータ源

環境有害物質.特定疾病対策庁 (ATSDR)

米国環境保護庁ChemViewデータベース

欧州化学品局 欧州食品安全機関(EFSA)

EPA (環境保護庁)

急性ばく露ガイドラインレベル(AEGL) 米国環境保護庁、連邦殺虫剤、殺菌剤、殺鼠剤法 米国環境保護庁高生産量化学物質

フードリサーチジャーナル (Food Research Journal) 危険有害性物質データベース

厄険有害性物員アーダベース 国際統一化学情報データベース(IUCLID) 日本政府によるGHS分類 オーストラリア国家工業化学品届出審査機構(NICNAS) NIOSH(米国労働安全衛生研究所)

米国医学図書館ChemID Plus(NLM CIP)

National Library of Medicine's PubMed database (NLM PUBMED)

米国国家毒性プログラム(NTP)

ニュージーランド 化学物質分類・情報データベース(CCID)

経済協力開発機構、環境・健康・安全に関する文書

経済協力開発機構、高生産量化学物質点検プログラム 経済協力開発機構、スクリーニング情報データセット

世界保健機構

安全データシート のおわり



-ト は以下の要件に準拠している: JIS Z 7253:2012

改訂日 2021-08-19

改訂番号 2

化学品及び会社情報

製品名 Arabinose Lyophilized

カタログ番号 1660406, 1660406EDU, 9702997

CAS**番号** 5328-37-0

安全データシート の供給者の詳細

製造者 本社 日本法人/連絡先住所

Bio-Rad Laboratories Inc. Bio-Rad Laboratories, Life 140-0002

東京都品川区東品川2-2-24 1000 Alfred Nobel Drive Science Group 2000 Alfred Nobel Drive Hercules, CA 94547 天王洲セントラルタワー20F Hercules, California 94547 **USA** バイオ・ラッド ラボラトリーズ

USA 株式会社

テクニカルサービス 03-6404-0331

life_ps_jp@bio-rad.com CHEMTREC (ケムトレック):81-345209637 緊急連絡電話番号

化学品の推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 使用上の制限 試験研究用試薬。

情報なし

危険有害性の要約

世界調和システム(GHS)による危険物有害性の物質でも混合物でもない	N区分に該当しない
急性毒性(経口)	分類できない
急性毒性(経皮)	分類できない
急性毒性(吸入) - ガス	区分に該当しない
急性毒性(吸入) - 蒸気	分類できない
急性毒性(吸入) - 粉塵/ミスト	分類できない
皮膚腐食性/刺激性	分類できない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	分類できない
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
授乳に対する又は授乳を介した影響	授乳に対する又は授乳を介した影響は
	ない
特定標的臓器毒性(単回ばく 露)	分類できない
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	分類できない
誤えん有害性	分類できない
水生環境有害性 短期(急性)	分類できない
水生環境有害性 長期(慢性)	区分に該当しない
オゾン層への有害性	分類できない

ラベル要素

危険有害性情報

世界調和システム(GHS)による危険物有害性の物質でも混合物でもない 区分に該当しない

安全対策

・該当しない

応急措置

・該当しない

保管

-・該当しない 廃棄

・該当しない

他の危険有害性

3. 組成及び成分情報

化学物質 化学物質・混合物の区別

CAS番号 5328-37-0

	化学品の名称	CAS番号	重量%	化審法インベント リ	化審法番号	安衛法インベント リ	安衛法番号
Г	L-アラビノース	5328-37-0	50 - 100	情報なし		情報なし	

化学物質排出把握管理促進法(PRTR)

該当しない

労働安全衛生法

<u>通知対象物質</u> 該当しない

表示対象物質 該当しない

毒物及び劇物取締法

該当しない

4. 応急措置

吸入した場合 空気の新鮮な場所に移すこと。

皮膚に付着した場合 皮膚を石けん(鹸)と水で洗うこと。

上下のまぶた(瞼)を持ち上げながら最低15分間多量の水でよく洗うこと。医師に相談すること。 眼に入った場合

飲み込んだ場合 口をすすぐこと。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な 情報なし

徴候症状

医師に対する特別な注意事項 症状に応じて治療すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 現地の状況及び周囲環境に適した消火方法を用いること。

使ってはならない消火剤 高圧水で漏出物を散乱させないこと。

特有の危険有害性 情報なし。

特有の消火方法 水噴霧でドラムを冷却すること。

警告:放水では十分な消火の効果が得られない場合がある。 大規模火災

消火活動を行う者の特別な保護具及び 消火を行う者は自給式呼吸器及び消火活動用の完全装備を着用しなければならない。 個人 予防措置 用保護具を使用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊 十分換気されているか確認すること。 **急時措置**

緊急対応を行う 者のための保護具 項目8で推奨されている個人用保護具を着用すること。

環境に対する注意事項 環境影響情報の詳細情報については項目12を参照のこと。

封じ込め方法 安全に対処できるならば、それ以上の漏えい(洩)又は漏出を防ぐこと。

浄化方法 回収して適切に表示された容器に移すこと。

二次災害の防止策 汚染された物体及び区域を環境規則に従って十分に浄化すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱注意事項 産業衛生安全対策規範に従って取り扱うこと。

<u>保管</u>

安全な保管条件 製品とラベルの指示に従って保管してください。

8. ばく露防止及び保護措置

この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した職業被ばく限界が設定された危険有害物質を一切含んでいない。 許容濃度

供給時のこの製品は、各地域の規制機関が独自に生物学的制限値を定めている危険有害性 生物学的職業性ばく 露限界値

物質を一切含んでいない。

設備対策 シャワー

洗眼場 換気システム

環境ばく 露防止 情報なし。

保護具

呼吸用保護具 通常の使用条件下では保護具は必要ない。ばく露限度を超えるか刺激が生じる場合には、

換気および排気が必要になる。

眼、顔面の保護具 サイドシールド付き保護眼鏡(またはゴーグル)を着用すること。

皮膚及び身体の保護具 特別な保護具は必要とされない。

9. 物理的及び化学的性質

物理的及び化学的性質に関する情報

外観 粉末、固体物、凍結乾燥されたもの

物理状態 固体

色 白色 臭い 無臭 臭いのしきい値 情報なし

情報なし

情報なし

情報なし

情報なし

情報なし 情報なし 情報なし

情報なし

情報なし

情報なし

情報なし

情報なし

情報なし

情報なし

該当しない

該当しない

備考 · 方法

158 ° C / 316.4 ° F データなし 情報なし 情報なし

一タなし 爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界

爆発又は可燃の上限界 データなし 爆発又は可燃の下限界 データなし 該当しない 引火点 蒸発速度 自然発火点 分解温度 データなし -タなし データなし データなし

рΗ

粘度 データなし 動粘性率 データなし 動的粘度

水に可溶 Water solubility データなし n ーオクタノール/水分配係数(log値) 蒸気圧 データなし データなし

密度及び/又は比重

相対密度 データなし 相対ガス密度 データなし 粒子特性

データなし 粒径 粒径分布 データなし

その他の情報

爆発性 情報なし 酸化特性 情報なし

10: 安定性及び反応性

反応性 情報なし。

化学的安定性 通常の条件下で安定。

危険有害反応可能性 通常のプロセスではない。

避けるべき条件 情報なし。

混触危険物質 提供された情報に基づき知見なし。 危険有害な分解生成物 提供された情報に基づき知見なし。

爆発データ

静電放電に対する感度 なし。 機械的衝撃に対する感度 なし。

11. 有害性情報

<u>急性毒性</u> 分類できない。

毒性の数値尺度 - 製品情報

情報なし

症状 情報なし

この化学物質または混合物の特定試験データはない。 経口

吸入 この化学物質または混合物の特定試験データはない。

皮膚接触 この化学物質または混合物の特定試験データはない。

眼接触 この化学物質または混合物の特定試験データはない。 Arabinose Lyophilized **改訂日** 2021-08-19

皮膚腐食性/刺激性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

呼吸器感作性又は皮膚感作性 分類できない。

生殖細胞変異原性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

発がん性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

生殖毒性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

特定標的臓器毒性(単回ばく露) 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

特定標的臓器毒性(反復ばく露) 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

誤えん有害性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

12. 環境影響情報

生態毒性 分類できない。

残留性・分解性 情報なし。

生体蓄積性情報なし。

土壌中の移動性 情報なし。

オゾン層への有害性 分類できない。 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

他の有害影響情報なし。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 現地の規則に従って廃棄すること。 環境法律に従って廃棄物を廃棄すること。

汚染容器及び包装 空容器を再利用しないこと。

14. 輸送上の注意

 IMDG
 規制対象外

 ADR
 規制対象外

 IATA
 規制対象外

規制対象外 日本

15. 適用法令

国内規制

化学物質排出把握管理促進法(PRTR) 該当しない

労働安全衛生法

該当しない

通知対象物質

該当しない

毒物及び劇物取締法

該当しない

消防法: 該当しない

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法)

該当しない

海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律

該当しない

国際規制

残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約 該当しない

ロッテルダム条約 該当しない

16. その他の情報

作成者 Bio-Rad Laboratories, Environmental Health and Safety

改訂日 2021-08-19

改訂記録 更新された安全データシート項目。1。2。

安全データシート で使用されている略語及び頭文字のキー又は凡例

凡例 項目8: ばく露防止及び保護措置

最大限界值 TWA(時間加重平均) TWA 天井値 感作性物質

皮膚兆候

本安全データシート の編集に使用した主要参考文献およびデータ源

環境有害物質•特定疾病対策庁 (ATSDR)

米国環境保護庁ChemViewデータベース

欧州化学品局 欧州食品安全機関(EFSA) EPA(環境保護庁)

急性ばく露ガイドラインレベル(AEGL)

米国環境保護庁、連邦殺虫剤、殺菌剤、殺鼠剤法

米国環境保護庁、産邦教宝用、校園用、校園用法 米国環境保護庁、高生産量化学物質 フードリサーチジャーナル (Food Research Journal) 危険有害性物質データベース 国際統一化学情報データベース(IUCLID) 日本政府によるGHS分類 オーストラリア国家工業化学品届出審査機構(NICNAS)

NIOSH(米国労働安全衛生研究所)

米国医学図書館ChemID Plus(NLM CIP)

National Library of Medicine's PubMed database (NLM PUBMED)

米国国家毒性プログラム(NTP)

ニュージーランド 化学物質分類・情報データベース(CCID)

経済協力開発機構、環境・健康・安全に関する文書

経済協力開発機構、高生産量化学物質点検プログラム 経済協力開発機構、スクリーニング情報データセット

世界保健機構

<u>免責事項</u>

このSDSは、JIS Z 7252:2019およびJIS Z 7253:2019の要件に準拠している。 この安全データシートに記載されている内容は、発行 日時点の知見、情報に基づき正確を期したものです。ここに記載されている情報は当該製品の安全な取扱い、使用、加工処理、保

Arabinose Lyophilized **改訂日** 2021-08-19

管、運搬、廃棄、漏えい時の処理など指針とすることのみを目的としたものであり、いかなる保証をするものではなく、また品質 仕様ではありません。本文中に明記されている場合を除き、他の何らかの材料と組み合わせて使用した場合、または何らかのプロセスに使用した場合には、有効でなくなる場合があります。

安全データシート のおわり



この安全データシートは以下の要件に準拠している: JIS Z 7253:2012

> 分類できない 分類できない 分類できない

分類できない

改訂日 2021-11-19 改訂番号 1.1

化学品及び会社情報

製品名 LB Broth

カタログ番号 1660421, 1660421EDU, 9702927

安全データシート の供給者の詳細

製造者 本社

Bio-Rad Laboratories Inc. 1000 Alfred Nobel Drive Hercules, CA 94547

USA

Bio-Rad Laboratories, Life Science Group 2000 Alfred Nobel Drive Hercules, California 94547

世界調和システム(GHS)による危険物有害性の物質でも混合物でもない 区分に該当しない

USA

日本法人/連絡先住所

140-0002 東京都品川区東品川2-2-24 天王洲セントラルタワー20F バイオ・ラッド ラボラトリーズ

株式会社

テクニカルサービス 03-6404-0331

life_ps_jp@bio-rad.com 緊急連絡電話番号

CHEMTREC (ケムトレック):81-345209637

化学品の推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 試験研究用試薬。

使用上の制限 情報なし

2. 危険有害性の要約

急性毒性(経口)	分類できない
急性毒性(経皮)	分類できない
急性毒性(吸入) - ガス	区分に該当しない
急性毒性(吸入) - 蒸気	分類できない
急性毒性(吸入) - 粉塵/ミスト	分類できない
皮膚腐食性/刺激性	分類できない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	分類できない
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
授乳に対する又は授乳を介した影響	授乳に対する又は授乳を介した影響は
	ない
特定標的臓器毒性(単回ばく 露)	分類できない
特定標的臓器毒性(反復ばく 露)	分類できない
들이 들어가 나는 분들 나!	4.3 stem - 1. / -

<u>ラベル要素</u>

GHS 分類

危険有害性情報

誤えん有害性 水生環境有害性

オゾン層への有害性

水生環境有害性 長期(慢性)

世界調和システム(GHS)による危険物有害性の物質でも混合物でもない 区分に該当しない

安全対策

・該当しない

応急措置

該当しない

保管

該当しない

廃棄

LB Broth 改訂日 2021-11-19

該当しない

他の危険有害性

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

製品には、指定の濃度で健康に対して危険有害性であると考えられる物質は含まれていない。

化学物質排出把握管理促進法(PRTR)

該当しない

労働安全衛生法

<u>通知対象物質</u>

該当しない

表示対象物質 該当しない

毒物及び劇物取締法 該当しない

4. 応急措置

吸入した場合 空気の新鮮な場所に移すこと。

皮膚に付着した場合 皮膚を石けん(鹸)と水で洗うこと。

上下のまぶた(瞼)を持ち上げながら最低15分間多量の水でよく洗うこと。医師に相談する 眼に入った場合

飲み込んだ場合 口をすすぐこと。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な 情報なし

徴候症状

医師に対する特別な注意事項 症状に応じて治療すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 現地の状況及び周囲環境に適した消火方法を用いること。

使ってはならない消火剤 高圧水で漏出物を散乱させないこと。

特有の危険有害性 情報なし。

特有の消火方法

水噴霧でドラムを冷却すること。 警告:放水では十分な消火の効果が得られない場合がある。 大規模火災

消火活動を行う者の特別な保護具及び 消火を行う者は自給式呼吸器及び消火活動用の完全装備を着用しなければならない。 個人 予防措置

用保護具を使用すること。

6. 漏出時の措置

LB Broth 改訂日 2021-11-19

人体に対する注意事項、保護具及び緊 十分換気されているか確認すること。

急時措置

緊急対応を行う者のための保護具 項目8で推奨されている個人用保護具を着用すること。

環境に対する注意事項 環境影響情報の詳細情報については項目12を参照のこと。

封じ込め方法 安全に対処できるならば、それ以上の漏えい(洩)又は漏出を防ぐこと。

浄化方法 回収して適切に表示された容器に移すこと。

二次災害の防止策 汚染された物体及び区域を環境規則に従って十分に浄化すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱注意事項 産業衛生安全対策規範に従って取り扱うこと。

保管

安全な保管条件 製品とラベルの指示に従って保管してください。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度 この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した職業被ばく限界

が設定された危険有害物質を一切含んでいない。

生物学的職業性ばく 露限界値 供給時のこの製品は、各地域の規制機関が独自に生物学的制限値を定めている危険有害性

物質を一切含んでいない。

シャワー 設備対策

洗眼場

換気システム

環境ばく 露防止 情報なし。

保護具

通常の使用条件下では保護具は必要ない。ばく露限度を超えるか刺激が生じる場合には、 呼吸用保護具

換気および排気が必要になる。

サイドシールド付き保護眼鏡(またはゴーグル)を着用すること。 眼、顔面の保護具

皮膚及び身体の保護具 特別な保護具は必要とされない。

9. 物理的及び化学的性質

備考 · 方法

物理的及び化学的性質に関する情報

液体 液体 外観 物理状態 色 無色 臭い 無臭 臭いのしきい値 情報なし

<u>値</u> 0 ° C / 32 ° F 融点/凝固点

初留点及び沸騰範囲 −タ なし 情報なし -タなし 情報なし 爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界 情報なし

爆発又は可燃の上限界 データなし LB Broth **改訂日** 2021-11-19

情報なし

情報なし

情報なし

情報なし

情報なし

 爆発又は可燃の下限界
 データなし
 情報なし

 引火点
 該当しない
 情報なし

 蒸発速度
 データなし
 情報なし

 自然発火点
 データなし
 情報なし

 分解温度
 データなし
 情報なし

 pH
 情報なし

粘度

動粘性率 データなし 情報なし **動的粘度** データなし 情報なし

Water solubility 水と混和 溶解度 データなし n ーオクタノール/水分配係数(log値) データなし 蒸気圧 データなし

無式に密度及び/又は比重相対密度ボータなし相対ガス密度ガータなしカータなりカータをよりカータをより</li

粒径 データなし 該当しない **粒径分布** データなし 該当しない

その他の情報

爆発性 情報なし **酸化特性** 情報なし

10: 安定性及び反応性

反応性 情報なし。

避けるべき条件 情報なし。

混触危険物質 提供された情報に基づき知見なし。 危険有害な分解生成物 提供された情報に基づき知見なし。

爆発データ

静電放電に対する感度 なし。 機械的衝撃に対する感度 なし。

11. 有害性情報

<u>急性毒性__</u>

分類できない。

毒性の数値尺度 - 製品情報

症状 情報なし

経口 この化学物質または混合物の特定試験データはない。

吸入 この化学物質または混合物の特定試験データはない。

皮膚接触この化学物質または混合物の特定試験データはない。

眼接触 この化学物質または混合物の特定試験データはない。

皮膚腐食性/刺激性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

LB Broth **改訂日** 2021-11-19

呼吸器感作性又は皮膚感作性 分類できない。

生殖細胞変異原性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

発がん性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

生殖毒性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

特定標的臓器毒性(単回ばく露) 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

特定標的臓器毒性(反復ばく露) 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

誤えん有害性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

12. 環境影響情報

生態毒性 分類できない。

未知の危険有害性物質の濃度 混合物の1%は水生環境に対する危険有害性が未知の成分で構成されている。

残留性・分解性 情報なし。

生体蓄積性情報なし。

土壌中の移動性情報なし。

オゾン層への有害性 分類できない。 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

他の有害影響情報なし。

13. **廃棄上の注意**

残余廃棄物 現地の規則に従って廃棄すること。 環境法律に従って廃棄物を廃棄すること。

汚染容器及び包装 空容器を再利用しないこと。

14. 輸送上の注意

 IMDG
 規制対象外

 ADR
 規制対象外

 IATA
 規制対象外

 日本 規制対象外

15. 適用法令

LB Broth 改訂日 2021-11-19

国内規制

化学物質排出把握管理促進法(PRTR) 労働安全衛生法 該当しない 通知対象物質 該当しない

毒物及び劇物取締法

該当しない 消防法:

該当しない 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法)

海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律

該当しない

国際規制

残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約 該当しない

ロッテルダム条約 該当しない

16. その他の情報

作成者 Bio-Rad Laboratories, Environmental Health and Safety

改訂日 2021-11-19

改訂記録 更新された安全データシート項目。1。2。

安全データシート で使用されている略語及び頭文字のキー又は凡例

<u>凡例 項目8: ばく露防止及び保護措置</u> TWA TWA(時間加重平均)

最大限界值 天井値 感作性物質 皮膚兆候

本安全データシート の編集に使用した主要参考文献およびデータ源

環境有害物質·特定疾病対策庁 (ATSDR)

米国環境保護庁ChemViewデータベース

欧州化学品局 欧州食品安全機関(EFSA)

EPA (環境保護庁)

急性ばく露ガイドラインレベル(AEGL)

米国環境保護庁、連邦殺虫剤、殺菌剤、殺鼠剤法

米国環境保護庁、産が収出別、収取別が 米国環境保護庁高生産量化学物質 フードリサーチジャーナル (Food Research Journal) 危険有害性物質データベース 国際統一によるCLICATE

日本政府によるGHS分類 オーストラリア国家工業化学品届出審査機構(NICNAS)

NIOSH(米国労働安全衛生研究所)

米国医学図書館ChemID Plus(NLM CIP)

National Library of Medicine's PubMed database (NLM PUBMED)

米国国家毒性プログラム(NTP)

ニュージーランド 化学物質分類・情報データベース(CCID)

経済協力開発機構、環境・健康・安全に関する文書

経済協力開発機構、高生産量化学物質点検プログラム 経済協力開発機構、スクリーニング情報データセット

世界保健機構

光見事場 このSDSは、JIS Z 7252:2019およびJIS Z 7253:2019の要件に準拠している。この安全データシートに記載されている内容は、発行 日時点の知見、情報に基づき正確を期したものです。ここに記載されている情報は当該製品の安全な取扱い、使用、加工処理、保 管、運搬、廃棄、漏えい時の処理など指針とすることのみを目的としたものであり、いかなる保証をするものではなく、また品質 仕様ではありません。本文中に明記されている場合を除き、他の何らかの材料と組み合わせて使用した場合、または何らかのプロ セスに使用した場合には、有効でなくなる場合があります。



この安全データシートは以下の要件に準拠している: JIS Z 7253:2012

分類できない

改訂日 2021-02-26

改訂番号 1

化学品及び会社情報

製品名 **Transformation Solution**

カタログ番号 9702925

安全データシート の供給者の詳細

本社 製造者

Bio-Rad Laboratories Inc. 1000 Alfred Nobel Drive Hercules, CA 94547

USA

Bio-Rad Laboratories, Life Science Group 2000 Alfred Nobel Drive Hercules, California 94547

USA

日本法人/連絡先住所

140-0002 東京都品川区東品川2-2-24 天王洲セントラルタワー20F バイオ・ラッド ラボラトリーズ

株式会社

テクニカルサービス 03-6404-0331

life_ps_jp@bio-rad.com 緊急連絡電話番号

CHEMTREC (ケムトレック):81-345209637

化学品の推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 試験研究用試薬。

使用上の制限 情報なし

2. 危険有害性の要約

分類できない
分類できない
区分に該当しない
分類できない
授乳に対する又は授乳を介した影響は
ない
分類できない

<u>ラベル要素</u>

危険有害性情報

オゾン層への有害性

世界調和システム(GHS)による危険物有害性の物質でも混合物でもない 区分に該当しない

安全対策

・該当しない

応急措置

該当しない

保管

・該当しない

廃棄

該当しない

他の危険有害性

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

化学品の名称	CAS番号	重量%	化審法インベント リ	化審法番号	安衛法インベント リ	安衛法番号
塩化カルシウム、六水和物	7774-34-7	1 - 2.5	情報なし		情報なし	

化学物質排出把握管理促進法(PRTR)

該当しない

労働安全衛生法

通知対象物質 該当しない

表示対象物質

該当しない

毒物及び劇物取締法

該当しない

4. 応急措置

吸入した場合 空気の新鮮な場所に移すこと。

皮膚に付着した場合 皮膚を石けん(鹸)と水で洗うこと。

上下のまぶた(瞼)を持ち上げながら最低15分間多量の水でよく洗うこと。医師に相談すること。 眼に入った場合

飲み込んだ場合 口をすすぐこと。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な 情報なし

徴候症状

医師に対する特別な注意事項 症状に応じて治療すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 現地の状況及び周囲環境に適した消火方法を用いること。

使ってはならない消火剤 高圧水で漏出物を散乱させないこと。

特有の危険有害性 情報なし。

特有の消火方法

水噴霧でドラムを冷却すること。 警告:放水では十分な消火の効果が得られない場合がある。 大規模火災

消火活動を行う者の特別な保護具及び 消火を行う者は自給式呼吸器及び消火活動用の完全装備を着用しなければならない。 個人 **予防措置** 用保護具を使用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊 十分換気されているか確認すること。 急時措置

緊急対応を行う者のための保護具 項目8で推奨されている個人用保護具を着用すること。

環境に対する注意事項 環境影響情報の詳細情報については項目12を参照のこと。

安全に対処できるならば、それ以上の漏えい(洩)又は漏出を防ぐこと。 封じ込め方法

浄化方法 回収して適切に表示された容器に移すこと。

二次災害の防止策 汚染された物体及び区域を環境規則に従って十分に浄化すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱注意事項 産業衛生安全対策規範に従って取り扱うこと。

保管

安全な保管条件 製品とラベルの指示に従って保管してください。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度 この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した職業被ばく限界

が設定された危険有害物質を一切含んでいない。

生物学的職業性ばく 露限界値 供給時のこの製品は、各地域の規制機関が独自に生物学的制限値を定めている危険有害性

物質を一切含んでいない。

設備対策 シャワー

洗眼場

換気システム

環境ばく 露防止 情報なし。

保護具

呼吸用保護具 通常の使用条件下では保護具は必要ない。ばく露限度を超えるか刺激が生じる場合には、

換気および排気が必要になる。

眼、顔面の保護具 サイドシールド付き保護眼鏡(またはゴーグル)を着用すること。

皮膚及び身体の保護具 特別な保護具は必要とされない。

9. 物理的及び化学的性質

物理的及び化学的性質に関する情報

外観 水溶液 物理状態 液体 色 無色 無臭 臭いのしきい値 情報なし

備考 · 方法

<u>値</u> 0 ° C / 32 ° F 100 ° C / 212 ° F 融点/凝固点 初留点及び沸騰範囲

ータなし 可燃性 情報なし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界

情報なし

情報なし

情報なし

爆発又は可燃の上限界 データなし 情報なし データなし 爆発又は可燃の下限界 情報なし 該当しない 引火点

情報なし データなし 蒸発速度 情報なし 情報なし 自然発火点 分解温度 ータなし 情報なし

6-7 粘度

データなし 動粘性率 情報なし データなし 動的粘度 情報なし

Water solubility 水と 混和 データなし 溶解度 n ーオクタノール/水分配係数(log値) 蒸気圧 データなし 密度及び/又は比重

相対密度 データなし 情報なし 相対ガス密度 データなし 情報なし 粒子特性

データなし 粒径 該当しない 粒径分布 データなし 該当しない

その他の情報

爆発性 情報なし 酸化特性 情報なし

10: 安定性及び反応性

反応性 情報なし。

化学的安定性 通常の条件下で安定。 危険有害反応可能性 通常のプロセスではない。

避けるべき条件 情報なし。

混触危険物質 提供された情報に基づき知見なし。 危険有害な分解生成物 提供された情報に基づき知見なし。

爆発データ

静電放電に対する感度 なし。 機械的衝撃に対する感度 なし。

11. 有害性情報

<u>急性毒性</u> 分類できない。

毒性の数値尺度 - 製品情報

症状 情報なし

この化学物質または混合物の特定試験データはない。 経口 吸入 この化学物質または混合物の特定試験データはない。

皮膚接触 この化学物質または混合物の特定試験データはない。

眼接触 この化学物質または混合物の特定試験データはない。

皮膚腐食性/刺激性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

呼吸器感作性又は皮膚感作性 分類できない。

生殖細胞変異原性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

発がん性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

生殖毒性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

特定標的臓器毒性(単回ばく露) 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

特定標的臓器毒性(反復ばく露) 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

誤えん有害性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

12. 環境影響情報

生態毒性 分類できない。

未知の危険有害性物質の濃度 混合物の0%は水生環境に対する危険有害性が未知の成分で構成されている。

残留性.分解性 情報なし。

生体蓄積性情報なし。

土壌中の移動性情報なし。

オゾン層への有害性 分類できない。 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

他の有害影響情報なし。

13. **廃棄上の注意**

残余廃棄物 現地の規則に従って廃棄すること。 環境法律に従って廃棄物を廃棄すること。

汚染容器及び包装 空容器を再利用しないこと。

14. 輸送上の注意

 IMDG
 規制対象外

 ADR
 規制対象外

 IATA
 規制対象外

 日本 規制対象外

15. 適用法令

国内規制

化学物質排出把握管理促進法(PRTR) 労働安全衛生法 該当しない 通知対象物質 該当しない

毒物及び劇物取締法

該当しない 消防法:

該当しない

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法)

海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律

該当しない

国際規制

残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約 該当しない

ロッテルダム条約 該当しない

16. その他の情報

作成者 Bio-Rad Laboratories, Environmental Health and Safety

改訂日 2021-02-26

改訂記録 更新された安全データシート項目。1。2。

安全データシート で使用されている略語及び頭文字のキー又は凡例

<u>凡例 項目8: ばく露防止及び保護措置</u> TWA TWA(時間加重平均)

最大限界值 天井値 感作性物質 皮膚兆候

本安全データシート の編集に使用した主要参考文献およびデータ源

環境有害物質·特定疾病対策庁 (ATSDR)

米国環境保護庁ChemViewデータベース

欧州化学品局 欧州食品安全機関(EFSA)

EPA (環境保護庁)

急性ばく露ガイドラインレベル(AEGL)

忌性はく露カイトラインレヘル(AEGL) 米国環境保護庁、連邦殺虫剤、殺菌剤、殺鼠剤法 米国環境保護庁高生産量化学物質 フードリサーチジャーナル (Food Research Journal) 危険有害性物質データベース 国際統一化学情報データベース(IUCLID)

日本政府によるGHS分類 オーストラリア国家工業化学品届出審査機構(NICNAS)

NIOSH(米国労働安全衛生研究所)

米国医学図書館ChemID Plus(NLM CIP)

National Library of Medicine's PubMed database (NLM PUBMED)

米国国家毒性プログラム(NTP)

ニュージーランド 化学物質分類・情報データベース(CCID)

経済協力開発機構、環境・健康・安全に関する文書

経済協力開発機構、高生産量化学物質点検プログラム 経済協力開発機構、スクリーニング情報データセット

世界保健機構

光見事場 このSDSは、JIS Z 7252:2019およびJIS Z 7253:2019の要件に準拠している。この安全データシートに記載されている内容は、発行 日時点の知見、情報に基づき正確を期したものです。ここに記載されている情報は当該製品の安全な取扱い、使用、加工処理、保 管、運搬、廃棄、漏えい時の処理など指針とすることのみを目的としたものであり、いかなる保証をするものではなく、また品質 仕様ではありません。本文中に明記されている場合を除き、他の何らかの材料と組み合わせて使用した場合、または何らかのプロ セスに使用した場合には、有効でなくなる場合があります。



この安全データシートは以下の要件に準拠している: JIS Z 7253:2012

改訂日 2021-11-19

改訂番号 1

化学品及び会社情報

製品名 E. coli HB101 Lyophilized

カタログ番号 1660408, 1660408EDU, 9702924

安全データシート の供給者の詳細

本社 製造者

Bio-Rad Laboratories Inc. 1000 Alfred Nobel Drive Hercules, CA 94547

USA

緊急連絡電話番号

CHS 公箱

Bio-Rad Laboratories, Life Science Group 2000 Alfred Nobel Drive Hercules, California 94547

USA

日本法人/連絡先住所

140-0002 東京都品川区東品川2-2-24 天王洲セントラルタワー20F バイオ・ラッド ラボラトリーズ

株式会社

テクニカルサービス 03-6404-0331

life_ps_jp@bio-rad.com CHEMTREC (ケムトレック):81-345209637

化学品の推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 試験研究用試薬。

使用上の制限 情報なし

2. 危険有害性の要約

急性毒性(経口)	GHS 分類	
急性毒性(経皮) 急性毒性(吸入) - ガス 急性毒性(吸入) - がス 急性毒性(吸入) - 蒸気 急性毒性(吸入) - 蒸気 分類できない 急性毒性(吸入) - 粉塵/ミスト 皮膚腐食性/刺激性 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	世界調和システム(GHS)による危険物有害性の物質でも混合物でもない 区分に該当しない	
急性毒性(吸入) - ガス区分に該当しない急性毒性(吸入) - 蒸気分類できない急性毒性(吸入) - 粉塵/ミスト分類できない皮膚腐食性/刺激性分類できない眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性分類できない呼吸器感作性皮膚感作性分類できない生殖細胞変異原性分類できない発がん性分類できない生殖毒性分類できない授乳に対する又は授乳を介した影響授乳に対する又は授乳を介した影響はない特定標的臓器毒性(単回ばく露)分類できない特定標的臓器毒性(反復ばく露)分類できない財実表の有害性短別(急性)水生環境有害性短別(急性)水生環境有害性長期(慢性)	急性毒性(経口)	分類できない
急性毒性(吸入) - 蒸気	急性毒性(経皮)	分類できない
急性毒性(吸入) - 蒸気	急性毒性(吸入) - ガス	区分に該当しない
皮膚腐食性/刺激性 分類できない 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 分類できない 呼吸器感作性 分類できない 皮膚感作性 分類できない 生殖細胞変異原性 分類できない 全殖毒性 分類できない 授乳に対する又は授乳を介した影響 授乳に対する又は授乳を介した影響はない 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 分類できない 特定標的臓器毒性(反復ばく露) 分類できない 誤えん有害性 分類できない 水生環境有害性 短期(急性) 水生環境有害性 長期(慢性)	急性毒性(吸入) - 蒸気	分類できない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 分類できない 呼吸器感作性 分類できない 生殖細胞変異原性 分類できない 発がん性 分類できない 生殖毒性 分類できない 授乳に対する又は授乳を介した影響 授乳に対する又は授乳を介した影響はない 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 分類できない 特定標的臓器毒性(反復ばく露) 分類できない 水生環境有害性 短期(急性) 水生環境有害性 長期(慢性)		
呼吸器感作性 分類できない 皮膚感作性 分類できない 生殖細胞変異原性 分類できない 発がん性 分類できない 生殖毒性 分類できない 授乳に対する又は授乳を介した影響はない 行業に対する又は授乳を介した影響はない 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 分類できない 特定標的臓器毒性(反復ばく露) 分類できない 水生環境有害性 短期(急性) 水生環境有害性 長期(慢性)	皮膚腐食性/刺激性	分類できない
呼吸器感作性 分類できない 皮膚感作性 分類できない 生殖細胞変異原性 分類できない 発がん性 分類できない 生殖毒性 分類できない 授乳に対する又は授乳を介した影響はない 行業に対する又は授乳を介した影響はない 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 分類できない 特定標的臓器毒性(反復ばく露) 分類できない 水生環境有害性 短期(急性) 水生環境有害性 長期(慢性)	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	分類できない
生殖細胞変異原性 分類できない 発がん性 分類できない 生殖毒性 分類できない 授乳に対する又は授乳を介した影響 授乳に対する又は授乳を介した影響はない 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 分類できない 特定標的臓器毒性(反復ばく露) 分類できない 誤えん有害性 分類できない 水生環境有害性 短期(急性) 水生環境有害性 長期(慢性)	呼吸器感作性	
発がん性 分類できない 生殖毒性 分類できない 授乳に対する又は授乳を介した影響 授乳に対する又は授乳を介した影響はない 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 分類できない 特定標的臓器毒性(反復ばく露) 分類できない 誤えん有害性 分類できない 水生環境有害性 短期(急性) 水生環境有害性 長期(慢性)		分類できない
生殖毒性 分類できない 授乳に対する又は授乳を介した影響はない 授乳に対する又は授乳を介した影響はない 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 分類できない 特定標的臓器毒性(反復ばく露) 分類できない 誤えん有害性 分類できない 水生環境有害性 短期(急性) 水生環境有害性 長期(慢性)	生殖細胞変異原性	分類できない
授乳に対する又は授乳を介した影響 授乳に対する又は授乳を介した影響はない 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 分類できない 特定標的臓器毒性(反復ばく露) 分類できない 別表し有害性 分類できない 分類できない 水生環境有害性 短期(急性) 分類できない アナス	発がん性	分類できない
特定標的臓器毒性(単回ばく露) 分類できない 特定標的臓器毒性(反復ばく露) 分類できない 誤えん有害性 分類できない 水生環境有害性 短期(急性) 水生環境有害性 長期(慢性)	生殖毒性	
特定標的臓器毒性(単回ばく露) 分類できない 特定標的臓器毒性(反復ばく露) 分類できない 誤えん有害性 分類できない 水生環境有害性 短期(急性) 水生環境有害性 長期(慢性)	授乳に対する又は授乳を介した影響	授乳に対する又は授乳を介した影響は
特定標的臓器毒性(反復ばく露) 分類できない 誤えん有害性 分類できない 水生環境有害性 短期(急性) 水生環境有害性 長期(慢性)		ない
誤えん有害性分類できない水生環境有害性 短期(急性)分類できない水生環境有害性 長期(慢性)区分に該当しない	特定標的臓器毒性(単回ばく 露)	
水生環境有害性 短期(急性) 水生環境有害性 長期(慢性) 区分に該当しない	特定標的臓器毒性(反復ばく露)	分類できない
水生環境有害性 長期(慢性) 区分に該当しない		
	水生環境有害性 短期(急性)	
オゾン層への有害性 分類できない		区分に該当しない
	オゾン層への有害性	分類できない

ラベル要素

危険有害性情報

世界調和システム(GHS)による危険物有害性の物質でも混合物でもない 区分に該当しない

安全対策

・該当しない

応急措置

・該当しない

保管

・該当しない

JGHS / JP ページ 35 / 41 _____

廃棄

・該当しない

他の危険有害性_

バイオセーフティレベル1 - 本製品には、健康な成人に対し、一貫して疾病を起こすことが知られていない、また検査施設の人員や環境に対する潜在的な危険性が最小限である物質が含まれています。 人体に由来する成分及び/又は感染性のおそれがある成分が含まれています。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

化学物質

化学品の名称	CAS番号	重量%	化審法インベント リ	化審法番号	安衛法インベント リ	安衛法番号
BSL1 Bacteria	NO-CAS-104	50 - 100	情報なし		情報なし	

化学物質排出把握管理促進法(PRTR)

該当しない

労働安全衛生法

通知対象物質 該当しない

表示対象物質 該当しない

毒物及び劇物取締法

該当しない

4. 応急措置

吸入した場合 空気の新鮮な場所に移すこと。

皮膚に付着した場合 石けん(鹸)と水で洗うこと。

眼に入った場合 人体に由来する成分及び/又は感染性のおそれがある成分が含まれています。

飲み込んだ場合 医師に連絡すること。 人体に由来する成分及び/又は感染性のおそれがある成分が含まれ

ています。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な 情報なし

徴候症状

医師に対する特別な注意事項 人体に由来する成分及び/又は感染性のおそれがある成分が含まれています。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 現地の状況及び周囲環境に適した消火方法を用いること。

使ってはならない消火剤 高圧水で漏出物を散乱させないこと。

特有の危険有害性情報なし。

特有の消火方法 水噴霧でドラムを冷却すること。

大規模火災 警告: 放水では十分な消火の効果が得られない場合がある。

消火活動を行う者の特別な保護具及び 消火を行う者は自給式呼吸器及び消火活動用の完全装備を着用しなければならない。 個人 予防措置 用保護具を使用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊 十分換気されているか確認すること。 **急時措置**

緊急対応を行う者のための保護具 項目8で推奨されている個人用保護具を着用すること。

環境に対する注意事項 環境影響情報の詳細情報については項目12を参照のこと。

いかなる下水管の中、地面上又はいかなる水域中にも侵入させないこと。 封じ込め方法

浄化方法 汚染された表面を十分に浄化すること。

二次災害の防止策 汚染された物体及び区域を環境規則に従って十分に浄化すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱注意事項 産業衛生安全対策規範に従って取り扱うこと。

感染のおそれがある物質を取扱う場合は、一般的かつ標準的な予防措置に従ってくださ 衛生対策

い。

保管

安全な保管条件 製品とラベルの指示に従って保管してください。

8. ばく露防止及び保護措置

この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した職業被ばく限界 許容濃度

が設定された危険有害物質を一切含んでいない。

生物学的職業性ばく 露限界値 供給時のこの製品は、各地域の規制機関が独自に生物学的制限値を定めている危険有害性

物質を一切含んでいない。

シャワー 設備対策

洗眼場

換気システム

環境ばく 露防止 情報なし。

<u>保護具</u>

呼吸用保護具 通常の使用条件下では保護具は必要ない。ばく露限度を超えるか刺激が生じる場合には、

換気および排気が必要になる。

手の保護具 適切な手袋を着用する。

サイドシールド付き保護眼鏡(またはゴーグル)を着用すること。 眼、顔面の保護具

皮膚及び身体の保護具 適切な保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理的及び化学的性質に関する情報

水溶液 物理状態 液体

明るいピンク 臭い 無臭 臭いのしきい値 情報なし

備考 · 方法 情報なし <u>値</u> データなし 100 °C / 212 ° F 融点/凝固点 沸点、初留点及び沸騰範囲

可燃性 データなし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界

爆発又は可燃の上限界 データなし 情報なし データなし 爆発又は可燃の下限界 情報なし 引火点 該当しない 情報なし データなし データなし データなし 蒸発速度 情報なし 自然発火点 分解温度 情報なし 情報なし

7.5-8.5 粘度

動粘性率 データなし 情報なし 動的粘度 データなし 情報なし

水と 混和 Water solubility データなし 溶解度 n ーオクタノール/水分配係数(log値)

情報なし 蒸気圧 データなし 情報なし 密度及び/又は比重 相対密度 データなし 情報なし 相対ガス密度 粒子特性 データなし 情報なし

粒径 データなし 該当しない データなし 粒径分布 該当しない

その他の情報

爆発性 情報なし 酸化特性 情報なし

10: 安定性及び反応性

情報なし

情報なし

反応性 情報なし。

化学的安定性 通常の条件下で安定。

危険有害反応可能性 通常のプロセスではない。

避けるべき条件 情報なし。

混触危険物質 提供された情報に基づき知見なし。

危険有害な分解生成物 提供された情報に基づき知見なし。

爆発データ

静電放電に対する感度 なし。 機械的衝撃に対する感度 なし。

11. 有害性情報

急性毒性

分類できない。

毒性の数値尺度 - 製品情報

情報なし

症状 情報なし

この化学物質または混合物の特定試験データはない。 経口

この化学物質または混合物の特定試験データはない。 吸入

皮膚接触 この化学物質または混合物の特定試験データはない。 眼接触 この化学物質または混合物の特定試験データはない。

皮膚腐食性/刺激性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

呼吸器感作性又は皮膚感作性 分類できない。

生殖細胞変異原性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

発がん性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

生殖毒性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

特定標的臓器毒性(単回ばく露) 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

特定標的臓器毒性(反復ばく露) 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

誤えん有害性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

12. 環境影響情報

生態毒性 分類できない。

残留性.分解性 情報なし。

生体蓄積性情報なし。

土壌中の移動性 情報なし。

オゾン層への有害性 分類できない。 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

他の有害影響情報なし。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 現地の規則に従って廃棄すること。 環境法律に従って廃棄物を廃棄すること。

汚染容器及び包装 空容器を再利用しないこと。

14. 輸送上の注意

IMDG 規制対象外

規制対象外 <u>ADR</u> <u>IATA</u> 規制対象外 日本 規制対象外

15. 適用法令

国内規制

化学物質排出把握管理促進法(PRTR) 該当しない 労働安全衛生法

該当しない 通知対象物質 該当しない

毒物及び劇物取締法

該当しない 消防法:

該当しない

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法)

該当しない

海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律

該当しない

国際規制

残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約 該当しない

ロッテルダム条約 該当しない

16. その他の情報

作成者 Bio-Rad Laboratories, Environmental Health and Safety

改訂日 2021-11-19

改訂記録 この安全データシートには大きな変更があります。すべてのセクションをご確認くださ

安全データシートで使用されている略語及び頭文字のキー又は凡例

凡例 項目8: ばく露防止及び保護措置

最大限界值 TWA(時間加重平均) 天井値 TWA 皮膚兆候 感作性物質

本安全データシート の編集に使用した主要参考文献およびデータ源

環境有害物質·特定疾病対策庁 (ATSDR)

米国環境保護庁ChemViewデータベース

欧州化学品局

欧州食品安全機関(EFSA)

EPA (環境保護庁)

急性ばく露ガイドラインレベル(AEGL)

米国環境保護庁、連邦殺虫剤、殺菌剤、殺鼠剤法 米国環境保護庁高生産量化学物質 フードリサーチジャーナル (Food Research Journal) 危険有害性物質データベース

厄陝有音任物員アースペース 国際統一化学情報データベース(IUCLID) 日本政府によるGHS分類 オーストラリア国家工業化学品届出審査機構(NICNAS)

NIOSH(米国労働安全衛生研究所)

米国医学図書館ChemID Plus(NLM CIP)

National Library of Medicine's PubMed database (NLM PUBMED)

米国国家毒性プログラム(NTP)

ニュージーランド 化学物質分類・情報データベース(CCID)

経済協力開発機構、環境・健康・安全に関する文書

経済協力開発機構、高生産量化学物質点検プログラム 経済協力開発機構、スクリーニング情報データセット

世界保健機構

光貢季場 このSDSは、JIS Z 7252:2019およびJIS Z 7253:2019の要件に準拠している。この安全データシートに記載されている内容は、発行日時点の知見、情報に基づき正確を期したものです。ここに記載されている情報は当該製品の安全な取扱い、使用、加工処理、保管、運搬、廃棄、漏えい時の処理など指針とすることのみを目的としたものであり、いかなる保証をするものではなく、また品質仕様ではありません。本文中に明記されている場合を除き、他の何らかの材料と組み合わせて使用した場合、または何らかのプロセスに使用した場合には、有効でなくなる場合があります。

安全データシート のおわり